



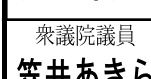
市議会議員 砂田喜昭 Tel 67-4322



衆議院議員 藤野保史



参議院議員 たけだ良介



参議院議員 井上哲士 衆議院議員 笠井あきら 禁無断転載 複写配布

市有地等の売払い 宅建業協会に媒介を協定

小矢部市は市有地等の売払いの広告を行い、応募がなかった場合、（公社）富山県宅地建物取引業協会と公有財産売却の媒介に関する協定を締結します。6月議会公共施設再編特別委員会に報告がありました。媒介報酬額は、取引額が2百万円以下の場合、取引額の5%、4百万円以下は4%、3千万円以下は3%、1億円以下は2%、1億円超は1・5%です。財政課長は「売却していく市有地は、原則、建物付きで広告をかけた。その場合、価格は、更地としての利活用ということで、建物の解体費を価格から差し引いたものを予定価格とする」と報告しました。



公共施設は市民のために税金で整備 市民の幸せにつながるか、歯止めが必要

これに関して砂田委員は次の質疑をしました。

【砂田委員】 いずれの物件も大半が、市民の幸せのために税金を使って整備してきたものである。売却後、どのように使われるのか。市民の幸せにつながる方向性が見いだせないものについては、市として了承するわけにいかないが、どうか。

【財政課長】 公共施設としての目的を廃止した財産を売り払い、買った方に有効活用してもらい、固定資産税を納めてもらうことを想定している。

【砂田委員】 20年前に東蟹谷の広場を売ろうという動きがあった。市民が現に使っている土地は遊休地ではないという議論をし、多目的ひろばとして残した。せつかくの土地が、市民の幸せと逆行するものに使われるのは、大きな問題だ。統合後の旧保育所は村の中心にある。何でも売ればよいというわけにはいかない。後悔することのないように歯止めをかけなければならぬ。

【総務部長】 そういった配慮は必要だ。反社会的勢力などは入札に参加できないという条件は付してあるが、今後どんな用途でも良いかとなると、場所にもよるが、必要に応じて用途の制限なども付していくことも考えている。生活環境に大きな変化をもたらすような施設は配慮が必要かと思う。

7月臨時議会で8億3600万2千円

7月臨時議会在22日に開かれ、新型コロナウイルス対策補正予算第4弾が提案、議決されました。補正額は8億3600万2千円で、この大半がケーブルテレビ光ファイバ整備事業（7億6340万円）に充てられます。この財源は、国・県が全額負担します。

ケーブルテレビ光ファイバ整備事業

市がケーブルテレビの伝送路をすべて光ファイバに敷設替えします。20年前に市が敷設した伝送路の幹線部分は、光ファイバと同軸ケーブルの組み合わせで、引き込み線は同軸ケーブルです。この整備事業のメリットとして次の3点をあげました。

①NTTの光ファイバが整備されていない市内局番69の地域にも光ファイバが敷設され、企業のインターネットなどのオンライン教育に市内全域で活用できるようになります。

②同軸ケーブルが敷設後20年近く経過し老朽化が心配されており、これを張り替えるとなると多大な市の負担が必要となるが、いま国の制度に乗れば市の負担（一般財源）はなくてすみます。

③光ファイバが整備されたら、TSTは5年以内に同軸ケーブルの各家庭への引き込み線をすべて光ファイバに切り替えるとのことですが、その費用はすべてTSTが負担することです。



その他のコロナ対策事業

- 指定管理施設支援 525万円
- 4月から5月まで休館したことに対する協力金と感染防止対策にかかる再開支援金
- 市職員のテレワーク試行 480万円
- 端末20台と専用回線など。
- 避難所の防災対策 100万円
- 段ボールベッド50セット、段ボールパティション300枚、非接触型体温計12、衛生用品、屋内用テント4セットなど。なお、今後計画的に拡充していく。
- 医療機関等支援 213万円
- 医療機関等で働く方を応援する寄付の受け皿として5月臨時市議会で400万円を制度化したが、寄付額が増大した。感染防止対策の物資を支援する。
- 障害者自立支援 78万円
- 就労継続支援B型事業所に通所する障がい者に対して休業期間を対象に月1万円の福祉金を支給する。
- 児童福祉施設における感染防止対策 1950万円
- 感染防止対策消耗品や備品の購入。民間には補助金を支給。
- 乳児健診などにおける感染防止策 93万8千円
- 医療・介護・福祉施設向け感染防護服セットなどの備蓄 277万2千円
- 集団検診における感染防止対策 19万9千円
- プレミアム付き商品券発行など 2670万円
- がんばる商店街支援 20万円
- 宿泊割引キャンペーン 500万円
- 城山公園の竹柵を木柵に改修 33万6千円
- 図書館の感染防止対策 319万7千円
- 飛沫感染防止用パネル68台、図書消毒機2台、ペダル式アルコール噴霧機2台。

新型コロナ対策の補正予算第4弾